

卒後藤谷塾 議事録

開催日時:令和2年2月12日(水)7:00~8:00 場所:テレビ会議

【活動報告】

A

看護業務（夜勤あり）をしながら週1日を特定行為活動日としている。退院後訪問も行っている。

B

病棟で看護業務を行っている。

C

欠席。内科で入院から退院まで診ている。総診科総入院数の約11%を担当。平均入院期間は上半期16.4日/下半期17.1日。平均受持ち患者数は上半期3名/下半期7名。多忙ではあるが学ぶ機会を頂いていることに感謝している。

D

総合診療センター開設に伴い1月～診療部付けとなった。区分別科目実習の受け入れや看護部研修も行っている。

E

欠席。変わりなし。

F

ICU勤務。週1回夜勤をしている。現在同施設の認定看護師が特定行為研修を受講しており、4月以降の働き方や認定看護師との業務の住み分けを検討している。

G

内科・整形外科で研修中。特定行為の実施もできている。指導医からの指導も受けられている。

H

先月から手術室で研修。併せて消化器外科で術前術後管理の研修も行っている。看護業務も時々行っている。内科指導医からの指導も受けられている。来年度の体制に関しては未定。

I

先月は診療所で研修を行った。今月は循環器科をローテーション中。

J

先週から在宅・訪問看護に同行。NDC4期生2名の実習を受け入れている。

K

先月までうわまちと恵那で研修し、今月からは自施設老健で研修を行っている。時間は限られるが、指導医からの指導も受けられている。4月からは3年目医師の着任が決まっており、指導が受けられそうである。

L

来週から週3回の診療所研修を予定している。その他の日は整形外科で研修している。

M

欠席。変わりなし。

N

欠席。変わりなし。

O

先月は食道外科で手術と術前術後管理を研修。今月からは脳神経外科で研修中。施設では4月からの診療部付けの勤務や処方権について検討している。給与・手当の見直しも行っている。

P

今月からICUで研修中。特定行為も行っている。Open-ICUなので各科医師からの指導も受けられている。

Q

患者数名を受け持ち、臨床推論・特定行為を学んでいる。先月から自施設のNDC4期生区分別科目実習が始まり、コーディネーターの役割を担っている。4月以降の体制は未定。

R

看護業務（夜勤あり）をしながら週1日を特定行為研修日としている。他の日も看護業務をしながら臨床推論・特定行為を学んでいる。週1回の研修日だがストレスなくできている。

【症例発表】

症例（頸椎硬膜外血腫）に関して詳細は資料を参照。

塾長からのコメント：

血腫の原因はアスピリン内服によるものだったのか。

脊髄病変では交感神経の障害により病的反射が出現する。

（例）ホルネル徴候（主な症候：縮瞳、眼瞼下垂、眼球陥凹、顔面の発汗低下、紅潮）

例えばめまいやふらつきなど小脳疾患を疑ったが小脳所見がないときは脊髄病変を疑う。

脊髄病変では片側の顔面の温痛覚障害と対側の体幹で温痛覚障害を生じ、温痛覚の乖離を生じる。

（例）ワレンベルグ症候群（延髄の障害）